

東白杵北部地域の普及活動（普及活動月報）

令和8年5月 東白杵農林振興局
(東白杵北部農業改良普及センター)

目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P 2)
 - 1 第1回局内家畜防疫演習が開催
 - 2 東白杵地区花き振興会役員会が開催

- II 主な普及指導活動等の取組
 - 1 地域プランに基づく普及活動 (P 2～4)
 - 1 新規就農者に対する個別支援
 - 2 令和8年度認定農業者フォローアップ
 - 3 資金繰り表作成支援
 - 4 小麦展示ほの成熟期調査と坪刈りを実施
 - 5 たまねぎ直播栽培実証における収穫物調査を実施
 - 6 北川町しきみ部会祝子川支部で講習を実施

 - 2 地域課題一覧に関する普及活動 (P 4～5)
 - 1 東白杵地域鳥獣被害対策特命チームによるカモ被害対策に係る協議
 - 2 全国茶品評会の取組支援
 - 3 もも園地巡回及び出荷検討会で生育状況等を確認
 - 4 延岡市果樹振興協議会総会にて鳥獣害対策研修会を実施

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 第1回局内家畜防疫演習が開催

26日、延岡総合庁舎において、東臼杵農林振興局の職員による家畜防疫演習が開催されました。演習では、延岡家畜保健衛生所から豚熱の発生状況について説明があった後、担当班ごとに作業マニュアルに基づく初動作業内容の確認を行いました。

普及センターは、動員サポート班の業務を行うことになっており、演習では、マニュアルの内容確認と実際に発生した際に、初動体制において円滑に業務が遂行できるよう、課題及び改善点について協議しました。協議では、豚熱は夏場にも発生する可能性があるため、暑熱対策も必要になる等の意見がありました。

管内では昨年度、養鶏農家で鳥インフルエンザが発生し、今年度は、隣接する西臼杵地域の野生イノシシにおいて豚熱が確認されています。「常在危機」を念頭に、今後も関係機関と緊密に連携し、万全な防疫体制の構築に努めていきます。



家畜防疫演習

2 東臼杵地区花き振興会役員会が開催

22日、延岡総合庁舎にて、生産者5名、関係者5名が参加し、東臼杵地区花き振興会役員会が開催されました。役員会では今年の総会の内容や日程調整、総会終了後の研修会について協議が行われ、研修会のテーマは「暑熱対策」「ナフサ不足に伴う代替資材等」に決まりました。

また視察研修の内容について意見交換が行われ、来年神奈川県で行われる「花博」や省力化機械が視察先の候補として挙げられました。最後に生産者から高温対策の実証事業について、東臼杵地区花き振興会を事業実施主体にできるかといった質問等が出され、振興局が確認して後日回答することになりました。



東臼杵地区花き振興会役員会

II 主な普及指導活動等の取組

1 地域プランに基づく普及活動

1 新規就農者に対する個別支援

新規就農者4名に対し、以下の個別支援を実施しました。

- ・対象者：令和5年就農者（施設野菜）1名、令和6年就農者（複合経営）1名及び令和7年就農者（施設野菜）2名

- ・支援内容：普及センター又は延岡市役所にて今後の営農について検討し、収支計画の作成支援を行いました。対象者ごとの計画に対して、経営規模の拡大や事業の活用、経営収支や労働力について関係機関とともに助言を行いました。

今回の支援により各対象者の課題整理が進み、経営発展への意欲が確認できました。今後も関係機関と連携し、早期の経営安定と定着に向けた支援を継続します。

2 令和8年度認定農業者フォローアップ

農業経営改善計画の5年目となる認定農業者のフォローアップ巡回を行いました。

・11日：畜産1件　・12日：畜産1件

関係機関と連携し、対象者の現状と5年後の目標を踏まえた上で、次期の農業経営改善計画の作成を支援しました。普及センターからは、飼養管理及び出荷数等を含む経営状況を聞き取った上で、課題解決のために何に取り組むのかを具体化できるように助言しました。

今回の活動を通し、各対象者の経営改善に向けた意欲を高めることが出来たと考えています。今後も農業者の経営改善を支援していきます。

3 資金繰り表作成支援

25日、中長期的な資金繰りの把握で課題を持つ農業者1戸を対象に、関係機関と連携して、直近の経営実績や家計の状況、今後の見通しを聞き取りながら資金繰り表の作成を支援しました。

対象者からは「資金繰り表を作成したことで、将来的な資金の流れを把握できた。今後はこの表を目安として経営管理を行っていききたい。」との声がありました。

今回の活動を通し、対象者が自身の経営状況を数字で把握することや問題の事前把握及びリスク回避の重要性を理解できたと思われます。今後も農業者の経営改善を支援していきます。

4 小麦展示ほの成熟期調査と坪刈りを実施

21日に差木野町の小麦展示ほにて、生育調査と坪刈りを行いました。

この展示ほでは、小麦の品質を高めるための追肥の量について、葉色による判断を可能とするための調査を実施しています。

まもなく収穫を迎えるため、最終の調査として、穂数や1穂粒数などの収量構成要素と、穂長など収量に間接的な影響を与える要素について、ほ場での調査と刈取調査（坪刈り）を実施しました。

今年小麦は目立つ病害はないものの、播種作業の遅れから収量は少なくなる見込みで、品質について試験区で差が見られるのか、収穫後の品質についても分析を進め、今後の生産者の技術向上支援に役立てていきます。



調査の様子

5 たまねぎ直播栽培実証における収穫物調査を実施

18日、延岡市差木野町にて、昨年10月下旬に播種を行ったたまねぎ直播栽培実証ほ場の収穫物調査を実施しました。収穫できたものについては、S～M玉中心で小玉傾向、一部レモン球（レモン様の形状で品質上は欠点）が混ざっている状況でした。

本年度の試験の結果を受け、収量向上のための10月上～中旬の播種時期厳守と追肥、レモン球対策のための播種方法、深度について改善が必要であることを生産者と確認しました。

次作も引き続き、技術改善を行いながら、直播栽培の確立を目指して支援していきます。



直播栽培実証ほ場

6 北川町しきみ部会祝子川支部で講習を実施

13日、北川町祝子川公民館大崩研修棟にて、生産者14名、関係者3名が参加し、北川町しきみ部会祝子川支部定例総会が開催されました。

総会終了後に出荷先について話し合いが行われ、候補として考えられる出荷先へ現在出荷している他支部の束づくり等を視察し、改めて検討が行われることになりました。

総会後の研修会で普及センターから施肥や土づくり、ドローン防除等について説明を行いました。その後に柚陸支部の小野敬通さんから、生産者目線での牛ふんたい肥を用いた土づくりや防除について自身の取組の説明があり、参加した生産者は熱心に聞いていました。



祝子川支部総会

2 地域課題一覧に関する普及活動

1 東臼杵地域鳥獣被害対策特命チームによるカモ被害対策に係る協議

近年、延岡市内では、カモ類による麦や飼料作物への被害が発生しており、農家から被害対策の要望が挙がっていることから、地域特命チーム主催により、延岡市とモデル展示ほの設置方法等について協議しました。その結果、大型旗(吹き流し)等によるモデル実証展示ほを鳥獣被害対策支援センターに要望することになりました。

今後、麦生産者の意向確認を踏まえて詳細な展示ほ設計に取り組む予定ですが、成果が確認できれば、カモ被害のある飼料作物にも応用できると思われ、地域全体でのカモ被害の軽減が期待されます。

2 全国茶品評会の取組支援

14日に、北方の来年度の全国茶品評会出品を予定する茶園において、栽培管理支援を試験場と連携して行いました。

今回は、来年4月に摘採を行う予定の茶園の生産性向上や樹勢回復等を目的にせん枝等の技術支援を行いました。生産者2名に対し、茶園毎のせん枝の適正な高さや、せん枝後の病害の予防について、助言しました。

生産者からもせん枝・整枝の考え方について、改めて勉強になったとの声が聞かれ、約1年前のこの時期から対策を行うことで、生産者の次年度以降の意欲向上にもつながっています。

普及センターとしても、全国茶品評会の産地賞の受賞に向け、継続した支援を行っていきます。



せん枝支援の様子

3 もも園地巡回及び出荷検討会で生育状況等を確認

18日、北方町蔵田・上崎地区にて、生産者5名、関係者7名が参加し、ももの園地巡回、出荷検討会が行われました。

今年も出荷先の市場関係者を招き、園地で市場関係者に生育状況を確認してもらいました。出荷検討会では市場関係者から青果物の販売状況等について情報提供が行われ、全体的に果物の販売は厳しいが大玉は売れるとコメントがありました。

今年、露地では平年に比べて着果が多いため、桃分科会長から大玉生産に向けて摘果をしっかりと行うよう改めて注意喚起が行われました。

今年のハウスももの生育は概ね平年並みで、5月末頃から出荷が始まる見込みです。



もも園地巡回

4 延岡市果樹振興協議会総会にて鳥獣害対策研修会を実施

20日、JA延岡北方支店にて、生産者25名、関係者12名が参加し、延岡市果樹振興協議会総会が開催されました。総会では令和7年度事業実績等について承認されました。参加した生産者から視察研修の実施を求める意見が出ました。また今年は栽培暦の配付が遅くなったため、普及センターから次回は配付を早めるよう改善する旨を伝えました。

総会終了後の研修会で、普及センターから「鳥獣害対策（シカ対策）」をテーマに、シカの生態や環境整備等の対策について説明を行いました。果樹ではシカに葉を食べられたり、枝を折られる被害があることから、園地周辺の無自覚のエサをなくしたり、柵設置後の維持管理の重要性についても啓発を行いました。



延岡市果振協総会